

快適な住空間をめざして

ALIA

Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)は、
住宅設備および建材に関わる企業 団体に構成される法人です。

快適な住空間の提供をめざし、
調査研究や情報の収集 発信に積極的に取り組んでいます。

一般社団法人リビングアメニティ協会

ご挨拶

一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)は、優良住宅部品(BL 部品)の開発・普及推進のため1976年に創設されたBL推進協議会を、1990年10月に発展的に改組して誕生し、2012年4月より一般社団法人化したしました。

当協会は、「優良な住宅部品の普及により快適な住生活の改善を図る」という目的に沿って活動を続けており、機能的で良質な住宅部品の供給促進と快適な住空間作りのための調査研究及び情報交換を推進しています。

昨今の住宅政策をみると、2014年のエネルギー基本計画や、2016年に国から発表された新たな「住生活基本計画(全国計画)」があります。特に後者は少子高齢化・人口減少を正面から受け止めた新たな住宅政策の方向性を提示し、安全・安心で豊かな住生活を支える生活環境の構築や、既存住宅の流通と空き家の利活用を促進し、住宅ストック活用型市場への転換することで、住生活産業の活性化を図るものとなっています。

なかでも、住宅の品質・性能の向上においては、住宅・建築物分野におけるエネルギー消費といった地球温暖化の課題に対して、2020年までに全ての新築住宅・建築物を対象として段階的に省エネ基準への適合が義務付けられました。他にも、既存ストックの省エネ改修の促進や、住宅・建築物や設備の省エネ性能の情報活用といった方向性が示されるなど、住宅部品が果たすべき役割は大きなものとなっています。

良質な住宅ストックの形成に向けた取り組みが進むなか、それを構成する住宅部品もまた、長期にわたり良好な状態で使用されなければなりません。「いいものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」社会の移行に向けて、定期的な点検を行うことで、不具合や劣化、異常等を早期に発見し、整備、修理、交換することを当たり前化する風土の醸成が望まれます。そこで、当協会では10月10日を「住宅部品点検の日」に制定するなど、住宅部品点検の推進に向けた環境整備や調査研究、情報発信を行っています。

また、2020年までに市場規模の倍増が進められている既存住宅流通・リフォーム分野への対応につきましては、省エネ化・耐震化へのニーズが今後ますます増大することを視野に、国の政策等に関する情報発信を行う一方、業界を取巻く事業環境の実態把握にも努めています。

当協会は、BL推進協議会からスタートして40年に亘り、住宅部品の普及による豊かな住環境をつくるという理念のもと活動を継続してまいりました。これもひとえに会員各社の皆様の日頃の努力の賜物であり、また、国土交通省のご指導、住宅金融支援機構、ベターリビング、ベターライフリフォーム協会との協調、さらに関係諸団体との連携によるものと感謝いたしております。

引き続き、快適で安心・安全な質の高い住生活空間の形成を目指してまいりますので、今後とも皆様のご協力をお願いするとともに、さらに多くの企業の積極的なご入会と活動へのご参画を期待しております。



一般社団法人
リビングアメニティ協会 会長

北野 亮

活動内容

優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究

住宅部品の機能、性能に関する調査研究

優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等

住宅部品の供給(流通を含む)や施工に関する調査研究

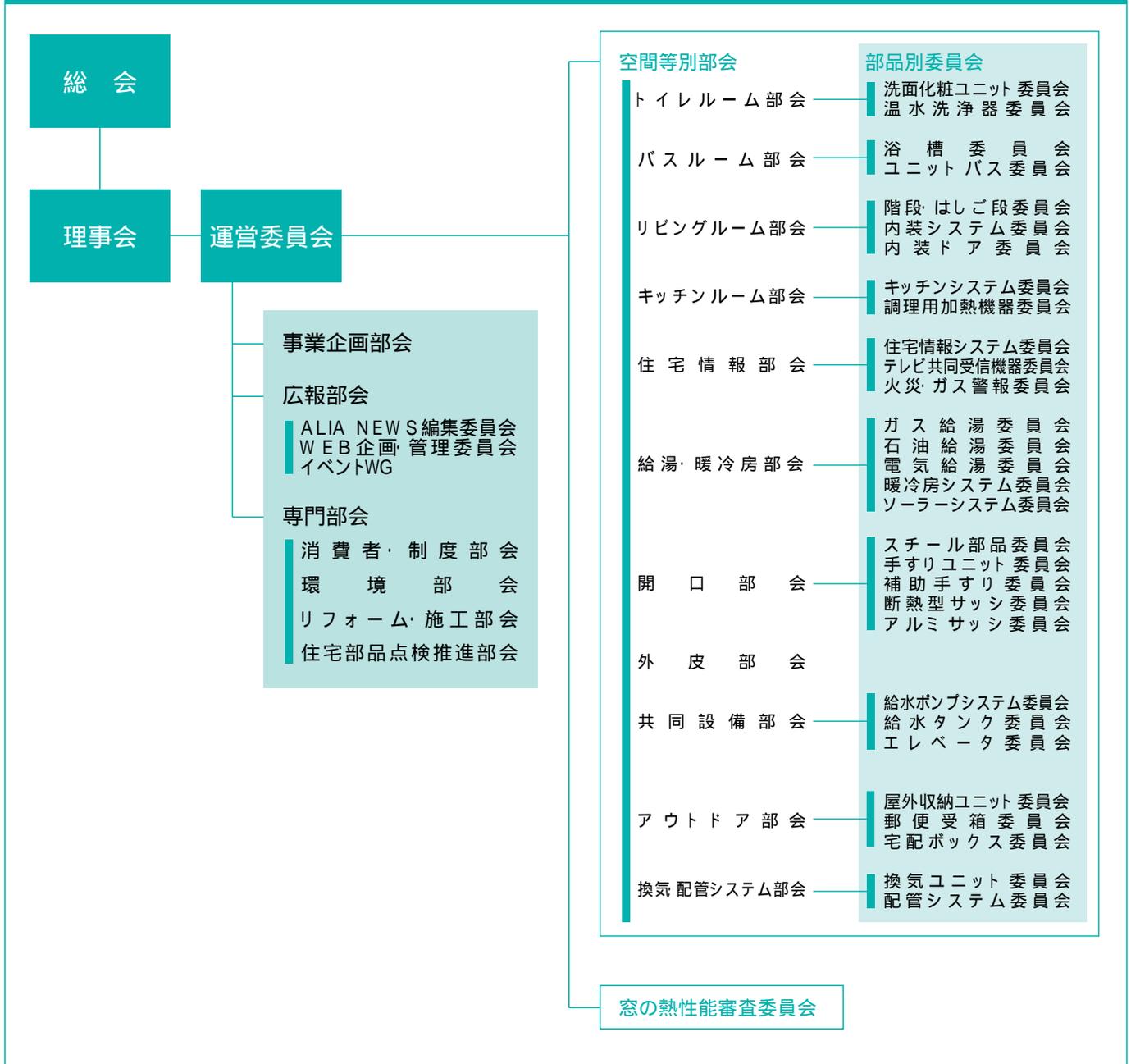
住宅部品の使用、利用に関する調査研究

住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発

政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等

委員会活動内容の紹介

組織図



専門部会

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

空間等別部会

バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社のレベルアップをはかるのにとっても有効な活動を行っています。

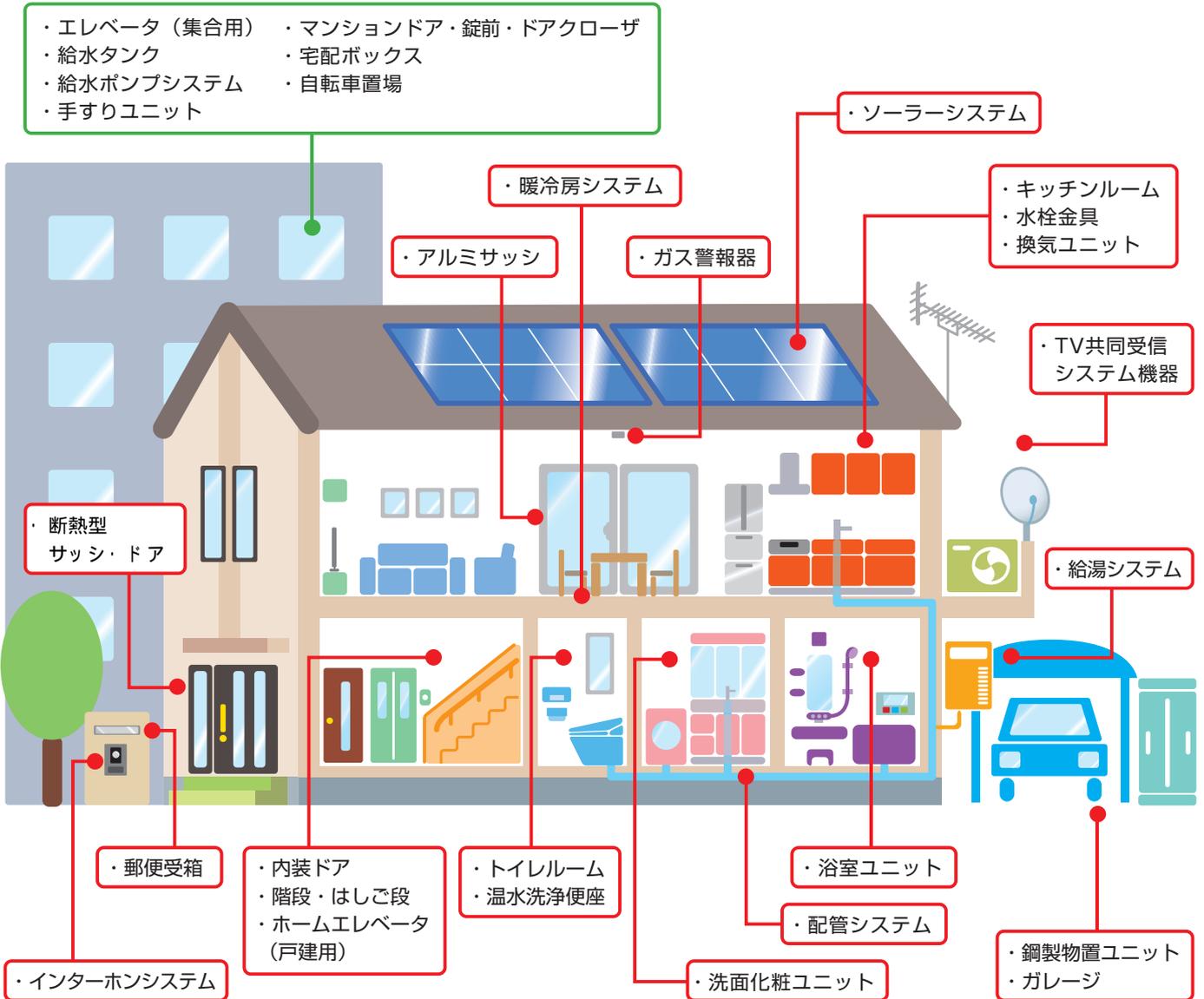


住宅部品や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

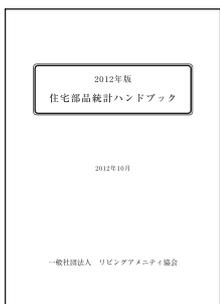
詳細はホームページにて

アメニティ Cafe

検索



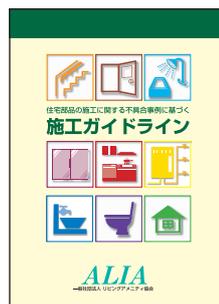
出版物等



住宅部品統計
ハンドブック



自分で点検！
ハンドブック



施工ガイドライン

住宅部品の自主点検表

内装建材の警告表示に関する
ガイドライン

住宅部品VOC表示ガイドライン

換気設計事例集

デジタル放送対応テレビ

共同受信機器システムカタログ

住宅部品点検の日

長年に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に住宅部品の点検活動に関する記載の充実を進めています。一方で、広く国民の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的とする「住宅部品点検の日」(10月10日)を制定しました。制定宣言については [こちら](#) をご覧ください。

(<http://www.alianet.org/residentialpart-check/>)

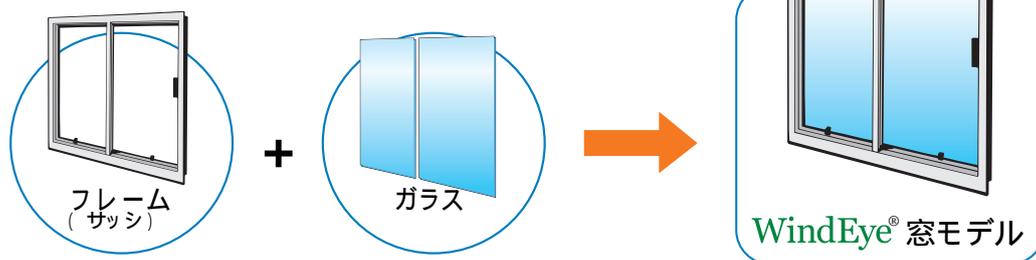


窓の総合熱性能評価プログラム

WindEye®で窓全体(フレーム+ガラス)の熱貫流率(U値)を任意の窓サイズで計算可能

➡ 「窓の断熱性能表示制度」に対応できます

「窓の断熱性能表示制度」対応版



WindEye®の特長

- フレーム、ガラスを一体として評価しています
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです
- ALIAのホームページから無料でご利用できます
- 新しい情報を皆様にご提供していきます

窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEye(「窓の断熱性能表示制度」対応版)を開発しました。個別の製品であるサッシ、板ガラスを任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。次世代省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるサッシ、板ガラス、ブラインドを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの表示性能の拡大、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。

